

## 第2節 田住桶川遺跡における弥生時代の墓制について

前章において、当遺跡における弥生時代の墓の時期を、青木編年のⅡ期～Ⅲ期の古段階（註1）と想定した。遺構に共存する遺物がほとんどないため、時期の想定にあたっては、周辺から出土した土器に頼らざるを得なかった。青木Ⅱ期前後の墓については、他遺跡においても、土器の共存例が少なく、時期を決定し辛いようである。また、青木Ⅱ期相当の墓の類例が、県下において少ないのは（註2）、当該期の墓であるにもかかわらず、時期が決定できないために認識されていないだけなのかもしれない。そのため、弥生時代中期と後期の墓の間に、断絶があるかのような印象を与えているのかもしれない。こういった問題をいかに解決していくかは、遺構外から出土した土器をいかに評価するかにかかっていると思われる。

土器の出土状況（第45図）をみると、いくつかのまとまりを看取できる。これらを1～6群にまとめてみたが、普遍性のあるグループングとは言えないかもしれない。1～3群のまとめ方や4群と5群の関係など、異論を挟む余地は充分にある。しかしいずれにせよこのまとまりが、尾根頂部から西側斜面へと拡散しようとする土器の散らばりを、より明瞭に示すものという共通理解は得られるものと信じる。

群構成への異論を承知の上で、土器群の在り方について、あえて検討を加えてみたい。下表は、各土器群についてまとめたものである。出土した土器は可能な限り実測し、掲載している。よって、第84、85図の土器で、調査地内の出土土器はほぼ網羅されているといつてよい。

位 置	群名	出 土 土 器						時 期		
		甕	高坏	器台	小型壺	台付鉢	細頸壺	小型器台	Ⅱ	Ⅲ古
南	1群	○	○						○	+
	2群	○	○						○	
	3群	○							○	○
	4群	○							○	
	5群	○		○	○?	○?			○	+
北	6群		○	○	○?		○	○		○

※時期欄の「+」は一部有り

上表からは、①器種構成が多いのは5群以北、②5群以南はⅡ期主体、6群はⅢ期古段階、という2点が確認できる。即断はできないが、土器群の分布と遺構の配置に関係性を認めるならば、SK-9～14は青木のⅡ期、SK-1～6、8は青木のⅢ期古段階に比定し得るのではなかろうか。SK-7は、推測し難い位置にある。第114図を含めて、さらに判明した事項を列挙してみよう。③SK-13とSK-7の間をもって、墓壇構造が変わる（木棺小穴有り・無しなど）。④小児墓と思われる小型墓壇は、SK-7以北のみみられる。⑤SK-7以南の墓壇は相互に間隔をとる配置だが、SK-7以北においては墓壇が集中する。以上5点から、SK-7あたりをボーダーラインが引けそうである。このことは、時間の推移とともに墓域が北側へ移行しようとする様を表すものであろう。しかし、確実に1群などから青木Ⅲ期の古段階の土器も出土しているのであり、SK-11を切るSK-10などは、墓壇の主体が北側へ移行しても、SK-11に纏わるものとして築かれた可能性がある。

さて、SK-8の埋土中から出土した土器片（165）以外に、墓壇に絡んで出土した土器はない。このことは、ここでは墓壇上への土器の供献が行われなかったことを示している。墓前祭祀が終了後は、付近に廃棄されたものとする。つまり、尾根頂部から西側斜面部にかけての土器群の分布は、後世の移動を考慮しても、供献後の廃棄の様相を概ね示すものと思われる。

烏取県下における当該期の墓で、墓壇上への土器供献が確認できるのは、青木のⅢ期古段階以降である。西伯耆地方において、青木のⅡ期に確実に比定される墓は、四隅突出墳丘墓である米子市の尾高浅山1号墓（註3）のみである。主体部の調査が行われていないため、時期決定は周溝から出土した土器から判断されている。よっ

て他遺跡に類例を求められず、墓前祭祀後の土器の廃棄に普遍性があるか否かは、現状では判断できない。

日野川左岸地域における弥生時代の墓の様相について下表にまとめてみたが、断片的な在り方で、系譜を辿るまでには至らない。しかし本事例が、西伯耆地方における弥生時代墓制の中期と後期の間隙を埋めるものであり、搬入土器の出十から広域の交流圏の中に組み込まれていった様相が窺われるなど、当遺跡の有する意義は大きい。

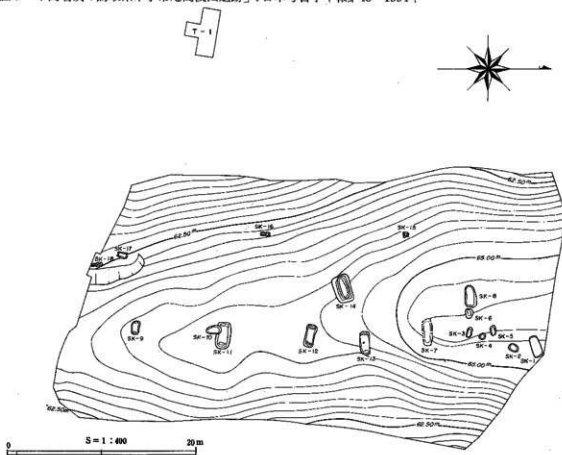
NO	遺跡名	所在地	種類	時期
1	別所新田遺跡	米子市	木棺墓	前期
2	清水谷遺跡	西伯町	土墳墓	0期
3	宮前遺跡	会見町	土墳墓、木棺墓	0～I期
4	東宗像遺跡	米子市	石蓋土墳墓、木棺墓、土器棺墓	I期
5	青木遺跡	米子市	木棺墓、土墳墓	I期
6	田住桶川遺跡	会見町	土墳墓、木棺墓	II～III古
7	陰田第6遺跡	米子市	木棺墓	III期以前
8	青木遺跡	米子市	土墳墓	III期古
9	朝金小チャ1号墓	会見町	墳丘墓	III期
10	父原1号墓	溝口町	四隅突出形墳丘墓	V～VI期

※時期は、青木福平による

注1 『青木遺跡発掘調査報告書』Ⅲ 青木遺跡発掘調査団 1978年

注2 久保穂二朗「西伯耆地方の弥生時代の墓とその様相—追加資料」『埋蔵文化財発掘技術研修会資料』  
鳥取県埋蔵文化財センター 1994年

注3 下高瑞哉「鳥取県米子市尾高浅山遺跡」『日本考古学年報』45 1994年



第114図 田住桶川遺跡土墳墓、木棺墓、石棺墓遺構配置図